

記者会見要旨
(2024年7月18日)

I 第58回定期総会について

1. 本日午後に、日本公認会計士協会第58回定期総会を開催しました。
2. 定期総会冒頭で来賓として、鈴木金融担当大臣、山道日本取引所グループ取締役兼代表執行役グループCEOにご臨席いただき、ご挨拶を賜りました。また、岸田内閣総理大臣の代理として村井内閣官房副長官にご挨拶を代読いただきました。
3. 金融庁から、鈴木金融担当大臣、井藤金融庁長官、油布企画市場局長、新発田企画市場局審議官、犬塚開示業務室長にご臨席を賜りました。
4. その後の審議については、審議事項11件を上程し、全て承認可決されました。

II 第59事業年度事業計画について

5. 事業計画については、タグライン「信頼の力を未来へ / Building trust, empowering our future」に込めた思いや現執行部がプライオリティをもって注力する施策として、4つの柱と施策の実現を支える体制整備を「経営方針」としております。
6. 経営方針の1つ目は、我々の中核業務であり、資本市場のインフラ機能である監査・保証業務の高度化と基盤強化。
7. 2つ目は、拡がる業務を通じた社会課題の解決への貢献。
8. 3つ目は、こういった業務を支えるのは何よりも一人ひとりの公認会計士であり、その人材の確保・育成。
9. そして4つ目は、本日お集まりいただいたメディアの皆様も含めた、ステークホルダーの皆様との連携強化です。
10. これら「経営方針」に紐づく特に重点的に取り組む活動について、当事業年度は14項目を「重点施策」として位置付けました。
11. 14項目すべて重要な施策ではありますが、本日はそのうち2つをご説明したいと思っております。
12. 1つ目は、重点施策「1. 上場会社等監査人登録制度の整備・運用」です。
13. 本年9月末に、現在みなし登録となっている登録事務所の登録申請期限を迎えます。現在、登録の対象となる監査人の適格性の確認を着実に進めております。上場会社等の監査を行う監査事務所の品質管理体制の一層の充実強化を図り、資本市場における財務諸表監査の信頼性確保に引き続き注力してまいります。
14. 2つ目は、重点施策「4. サステナビリティ情報を含む企業情報開示及び保証におけるリーダーシップ発揮」です。
15. 資本市場を取り巻く議論の動向として、サステナビリティ開示・保証に向けた議論が国内外で行われております。加えて、先般、岸田内閣総理大臣から有価証券報告書の総会前開示の環境整備についての意見表明がなされるなど、資本市場の在るべき姿について大きな関心が寄せられています。
16. 当協会は、企業の開示情報に対する信頼性を確保するという社会からの期待に応え続けられるよう、資本市場の在るべき制度に向けた環境整備の一翼を担うとともに、財務諸表監査を担ってきた公認会計士がサステナビリティ分野でも重要な役割を果たすべく、能力開発や人材育成に引き続き注力してまいります。
17. 現執行部の任期も残り1年となりましたが、安心で活力に満ちた豊かな社会の創造に貢

献していけるよう、皆様と率直な対話を重ね、引き続き会務運営に邁進してまいり所存です。

Ⅲ 第 52 回日本公認会計士協会学術賞授賞作品について

18. 毎年協会では会計・監査・税務・公会計・経営の学術の発展に寄与し、公認会計士の業務の向上に資すると認めた著書に対して学術賞を授与しております。
19. 本年は、学術賞に、早稲田大学商学大学院教授 大鹿智基先生の著書『非財務情報の意思決定有用性—情報利用者による企業価値とサステナビリティの評価—』、会員特別賞に、鶴川正樹会員の著書『公会計論の研究』が選ばれ、その表彰を総会で行いました。
20. 書籍については、お手元の配付資料をご覧くださいと思います。

Ⅳ 統合報告書 2024 (INTEGRATED REPORT) の公表について

21. この 7 月に「統合報告書 (INTEGRATED REPORT) 2024」を公表しましたので、ご紹介いたします。
22. 幅広いステークホルダーの皆さまへ、当協会のこれから目指す姿とそれに向けた取組をご紹介します、未来への想いを発信していくことを目的として、2023 年から統合報告書を作成しています。
23. 本年の統合報告書は、特別対談として、野球日本代表「侍ジャパン」の前監督である栗山英樹さんをお迎えし「信頼を育てるフィールドの作り方」と題して大変興味深いお話をお聞きしています。
24. また、特集では、中核業務である「監査」と「社会課題の解決」を通じて公認会計士が実現する「信頼創造」について、幅広い皆様にご覧いただき、少しでも身近に感じていただきたいとの思いを込めて、できるだけ分かりやすく紹介しています。
25. 統合報告書はお手元にお配りするとともに、協会ウェブサイトにもアップしておりますので、是非ご覧くださいと思います。

以 上